
日立ソリューションズ 顔認証ソリューション
「Biometric Signature サインインソフトウェア」と
HPE IceWall Federation Proxyの連携

2022年6月

株式会社 日立ソリューションズ

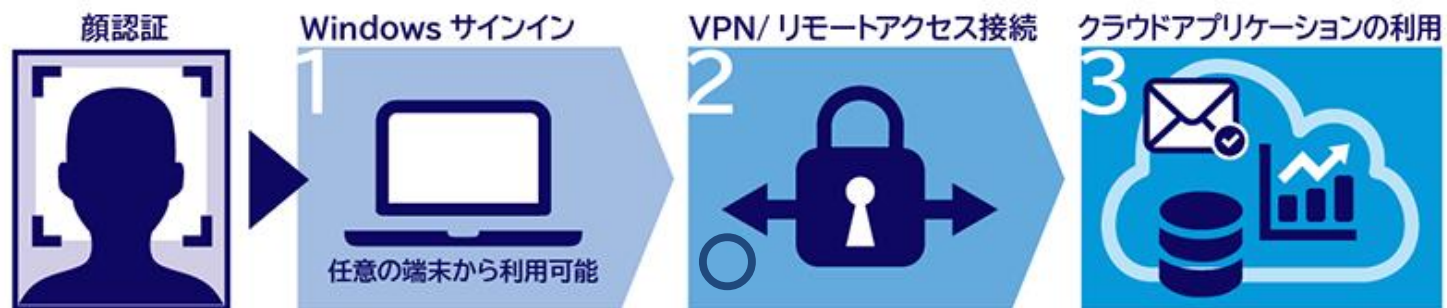
Agenda

1. はじめに
2. BSサインインの特徴
3. BSサインインとの連携メリット
4. 検証内容と結果
5. 検証時のシステム連携内容
6. まとめ
7. BSサインインに関するお問い合わせ

1. はじめに

本レポートでは、日立ソリューションズ社が提供する、オフィス・テレワーク環境の様々な認証を顔認証に統一するBiometric Signatureサインインソフトウェア（以下、BSサインイン）と「IceWall Federation Proxy」との連携についての検証結果をご紹介します。

リモートワーク・オフィスワーク時の様々な認証を顔認証に統一
⇒セキュリティ強化、業務効率化を手軽に実現



特徴

- PC内蔵カメラで利用可能
- 共用端末対応
- 生体情報漏洩リスク低減

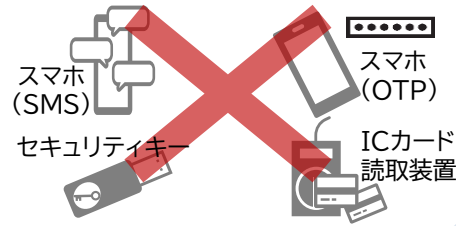
2. BSサインインの特徴

□ PC内蔵カメラで利用可能

必要なのは、カメラ付き
PC・タブレットのみ



スマホ・セキュリティキーなど
追加デバイス不要



外部認証装置の準備が不要なため、
準備・運用が簡単。
さらに、赤外線カメラ付きPCなど、
特殊なPCも不要です。

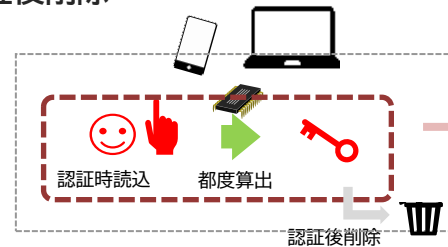
□ 共用端末対応

認証に利用する個人識別情報を
端末に保存しないため、
共用端末での利用も簡単。

□ 生体情報の漏洩リスク低減

生体情報を端末にも、サーバにも
保存しないため、
漏洩リスクが少なく安心

認証に必要な秘密鍵を生体情報から都度算出
→ 認証後削除



公開鍵を保管

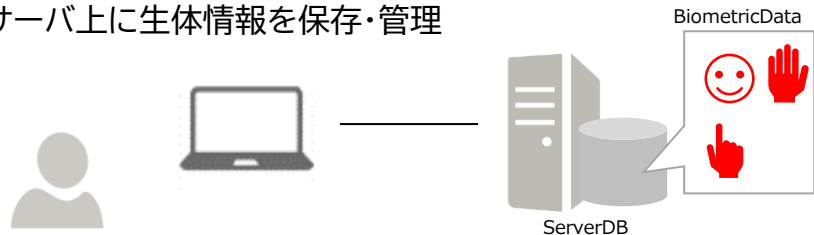


端末に認証情報を保存しない
ため共有端末でも利用可能

2. BSサインインの特徴 (補足)

従来の生体認証

サーバ上に生体情報を保存・管理



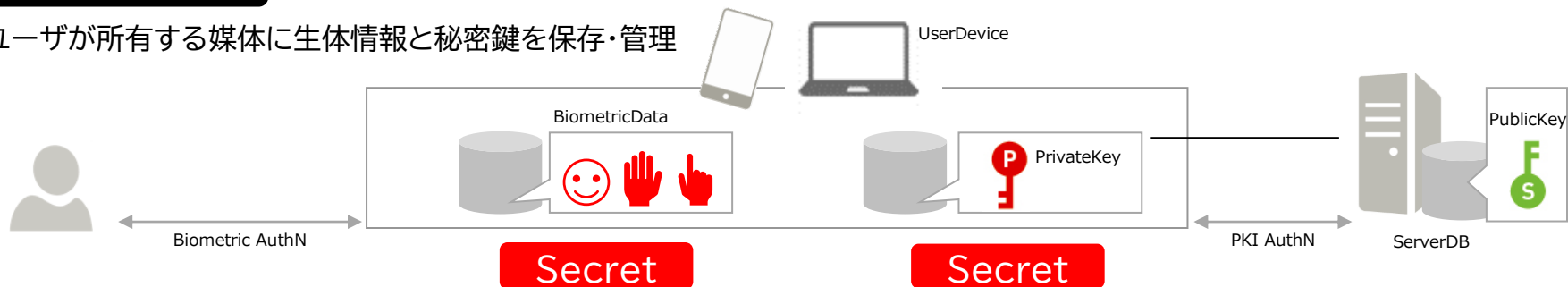
PKI

ユーザが所有する媒体に秘密鍵を保存・管理



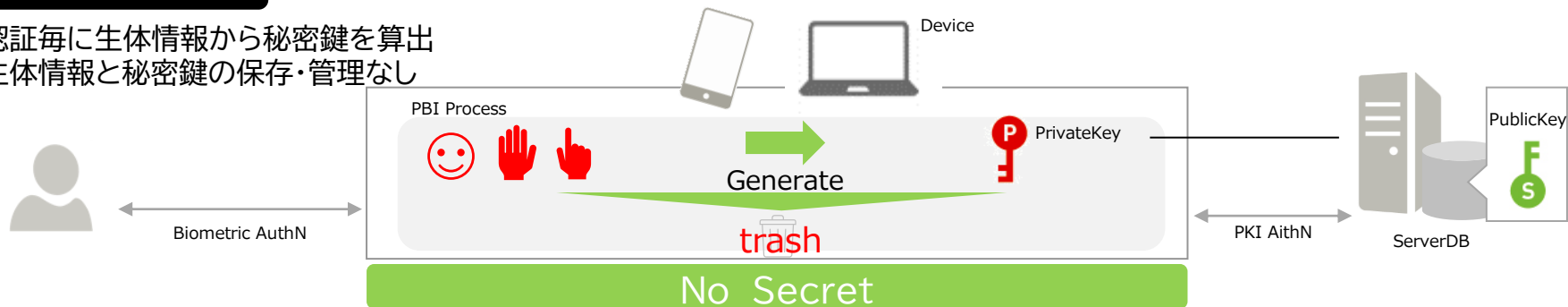
FIDO

ユーザが所有する媒体に生体情報と秘密鍵を保存・管理



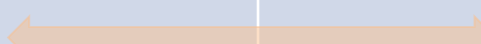
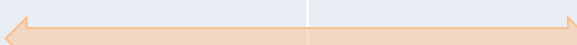
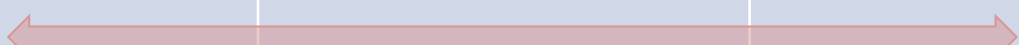
PBI

認証毎に生体情報から秘密鍵を算出
生体情報と秘密鍵の保存・管理なし



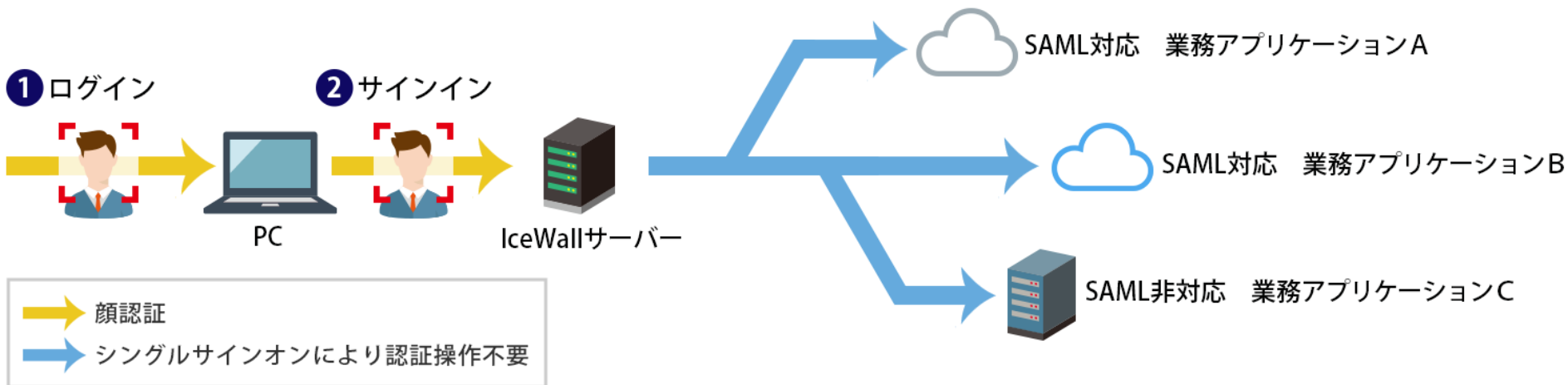
3. BSサインインと連携するメリット

連携により、各製品のそれぞれの認証統合範囲を拡大。
Windowsにログインすることで、SAMLアプリや、オンプレアプリを再度認証することなく使うことが可能となります。

#	Windows サインイン	Webアプリ サインイン(SAML)	Webアプリ サインイン(SAML以外)
BSサインイン	○ 	○	
IceWall		○ 	○
連携	○ 	○	○

3. BSサインインと連携するメリット

エンドユーザ様から見たWebアプリへアクセスする際の流れとしては、下記となります。



(1) Windowsへのログイン時は、BSサインインの認証画面が表示され顔認証を行います。

(2) Webアプリへのアクセスを行うと、(IceWallに未ログインのため)BSサインインの認証画面が表示され、再度顔認証を行います。

顔認証を行うことで、IceWallへログインが行われWebアプリの利用が可能となります

(3) (2)でアクセスした以外のWebアプリへのアクセスを行うと、IceWallのSSO機能により、認証不要で利用することが可能となります。

以上から、顔認証を2回行うことで、以降は認証不要で全てのアプリを利用することが可能となります。

4. 検証内容とその結果

SAML非対応のWebアプリケーションへアクセスすると、BSサインインの認証画面が表示され、顔認証することで、Webアプリケーションへアクセスできるかを検証しました。

検証内容とその結果を以下に示します。

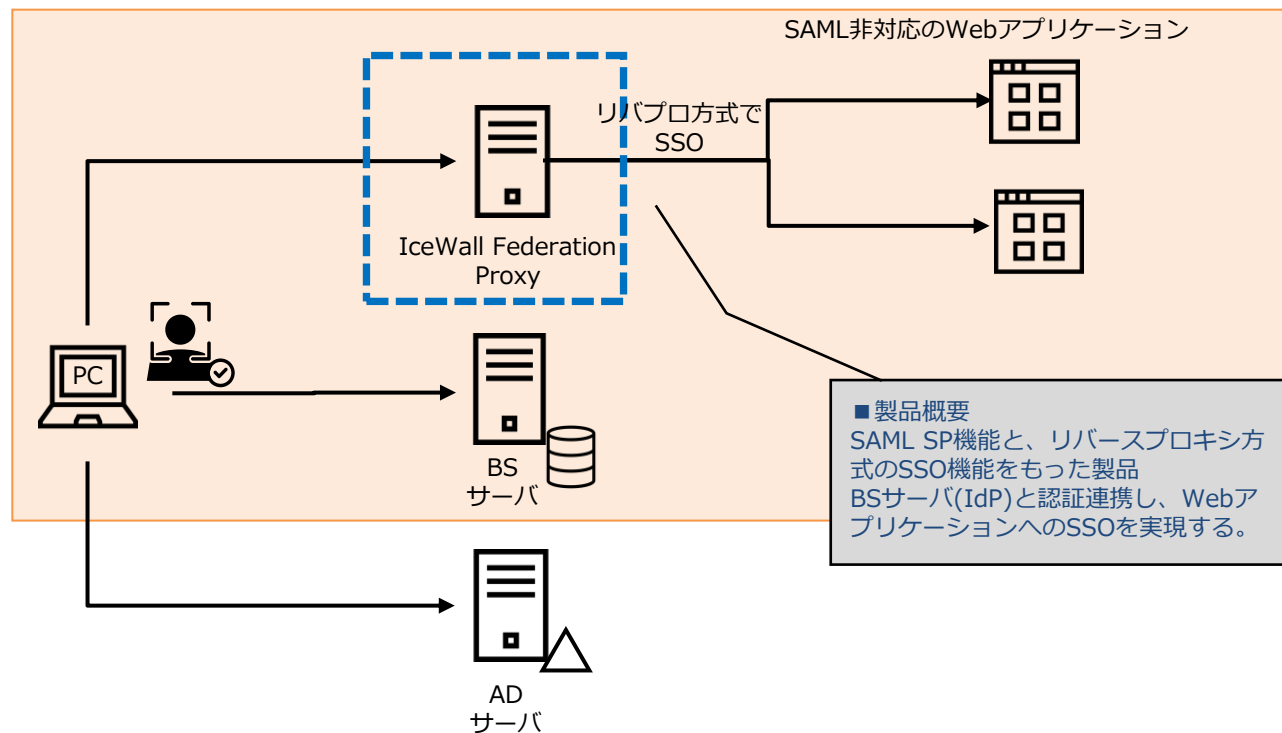
すべて想定通りの結果となりました。

#	検証内容	検証結果
1	IceWallへ未ログイン時に、Webアプリケーションへアクセスすると、BSサインインの認証画面が表示されること。	BSサインインの認証画面が表示された。
2	BSサインインの認証画面にて、顔認証することでWebアプリケーションへアクセスできること。	顔認証後に、Webアプリケーションへアクセスできた。 また、IceWallへもログインできていることが確認できた。

5. 検証時のシステム連携内容：システム構成

検証時のシステム構成と、各サーバの導入製品を以下に示します。

システム構成図



各サーバの導入製品

	IceWall Federation Proxyサーバ	BSサーバ
導入製品	IceWall Federation Proxy 4.0	Biometric Signature Server 02-05
OS	RHEL8.2	Windows Server 2016 Standard
ミドル	Apache/2.4.37	Keycloak Ver9.0.2
DB	-	SQLserver2016standard

検証は全て想定通りの結果となり、IceWall Federation ProxyとBSサインインが問題なく連携可能なことを確認できました。

BSサインインは、PC等のデバイス上に生体情報を保管することがないことと端末付属のカメラの制約が少ないことから、安全で手軽に導入できる製品です。

そのため、認証強化を検討されているお客様へ訴求できるソリューションであり、お客様の選択肢の幅が広がると考えております。

7. BSサインインに関するお問い合わせ

株式会社日立ソリューションズ

Webからのお問い合わせ：

https://www.hitachi-solutions.co.jp/bss/#a_bss

執筆者

株式会社 日立ソリューションズ

セキュリティソリューション事業部 セキュリティサイバーレジリエンス本部

新村 健太